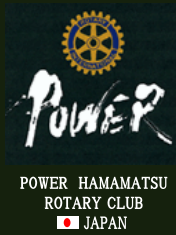


国際ロータリー第2620地区
静岡第5グループ



週報 パワー浜松ロータリークラブ

もう一步前へ!

よいことのために
手を取りあおう



RI 会長 フランチェスコ・アレツツォ/第 2620 地区ガバナー 稲葉雅之 /会長 加藤恵司 /幹事 鈴木 亮
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松内 Tel:053-452-0800
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立: 2002 年 10 月 22 日 認証伝達式: 2003 年 4 月 29 日 スポンサークラブ: 浜松中 R C



第1049回例会4月7日(火)AM7:30~8:30

- 会場: オークラクトシティホテル浜松 3 階 チェルシーの間
- 司会: 鷲津有一 井熊正浩 ■点鐘: 加藤恵司 ■週報: 鈴木一広
- ロータリーソング: 「希望のエナジー」
- ゲスト: 一般社団法人 全日本ロータリー協会 代表理事 松下雅樹様
同上 理事 平野邦彦様
例会見学者 行政書士宇佐美法務事務所 国際行政書士 宇佐美陽子様

出席報告/スマイル報告

会員数 67 名 (内出席免除会員 2 名)
出席数 54 名 出席率 83.07%

スマイル提出者氏名掲載
会員選考・クラブ研修委員会
周年事業実行委員会ほか 5 件

会長挨拶 会長 加藤恵司

おはようございます。本日は、会員選考・クラブ研修委員会の担当例会となります。今日も新会員入会式がありますが、森委員長をはじめ委員の方には毎月の様にオリエンテーションを開催して頂きお手数お掛けしております。

3 月末で宇佐美さんが退会されましたが、今日は国際行政書士の奥様陽子様が見学にお見えになっています。皆様お声がけよろしくお願ひいたします。

話は変わりますが、「ロータリーの友」に「ロータリーソングコーナー」と云うものがあります。各クラブ独自のロータリーソングを披露するコーナーですが、ここに私たちの「夢のみずうみ・希望のエナジー」を投稿したいと公共イメージ・ロータリー情報委員長の松島さんをお願いしておりました。この度事務局の高柳さんの協力でご投稿することが出来ました。

いつ掲載されるかわかりませんが、クラブの先輩たちが頑張って作り上げた曲であり、これからも大切に守っていきたいと思います。毎年の「クラブ事業計画書」の最後に楽譜が掲載されています。

本日の卓話は、松下雅樹(まさき)様の「アプリ開発物語」です。松下様、よろしくお願ひいたします。

本日もよろしくお願ひいたします。



幹事報告 幹事 鈴木 亮

- ① 『ロータリーの友』3 月号・4 月号の配布、会員手帳更新に関する案内
- ② 堀内義弘会員に「2026-27 年度 RLI ファシリテーター」の委嘱状の授与
- ③ 入会予定者・宇佐美陽子様よりのご挨拶

委員会報告

■財団プログラム委員会・ゴルフ同好会

青山会員地区補助金事業である「寺子屋支援」について、先月は教科書と生活物資の配布を実施し、協力者への感謝が述べられました。今後の予定として、4 月 11 日(土)の菓子パン配布(協力者 1 名募集)、4 月 18 日の学習支援の担当者が共有されました。また、5 月 16 日(土)に開催される静岡第 5 グループのゴルフコンペについて案内がありました。現在参加者は 5 名で団体戦に出場可能ですが、上位入賞を目指すため、更なる参加者を金曜日まで募集しているとのこと。

■鶴会員

先日全国大会に出場したソフトボールチーム「ウルフィンズ」への寄付に対する御礼が述べられました。大会は県大会で敗退したものの、会員からの支援に感謝し、遠征のお土産が加藤会長へ手渡されました。

入会式

会員増強委員会の進行のもと、畠山雄介氏の浜松ロータリークラブへの入会式が執り行われました。畠山氏は、株式会社ベルテックススポーツエンタープライズでアカデミーディレクターを務めており、職業分類はプロバスケットボールチームです。推薦者の匂坂幸治会員より、地域貢献活動を通じて畠山氏と知り合い、スポーツを通じてたまちづくりへの熱意に感銘を受け推薦に至った経緯が紹介されました。畠山氏は挨拶の中で、浜松市出身で

あること、サッカー選手としてジュビロの下部組織に所属し、16歳から21歳まで日本代表としてプレーした経歴を明かしました。ドイツ、ポーランドなど海外でのプレー経験を経て、現在は教育事業の会社を営みつつ、ベルテックスのアカデミー事業を業務委託で構築していると自己紹介。2030年に浜松にアリーナが完成することに触れ、スポーツの可能性を活かして地域に貢献したいとの力強い抱負を語りました。加藤会長から会員番号 232 番の入会状、記念品、ロータリーパッチが授与され、歓迎の言葉が贈られました。



議事

■ 卓話：アプリ開発物語 - IT・AI のビジネス活用とセキュリティ

卓話者の松下正樹氏（合同会社ミヤビコーポレーション代表／一般社団法人全日本ホームページ協会代表理事）より、「アプリ開発物語」と題した卓話が行われました。IT を「仕事を楽にする道具」と定義し、そのビジネス活用とセキュリティ対策の重要性について解説されました。

1. セキュリティの重要性

まず、IT 活用の大前提としてセキュリティ対策の重要性を強調。Instagram や LINE の乗っ取り、ランサムウェア被害（修復に 1,000 万円以上かかる事例）、巧妙化する詐欺メールなど、具体的なリスクを提示しました。昨年の詐欺被害総額は全国で 1,414 億円に上り、静岡県でも 442 件の被害が報告されています。対策として、警察庁が推奨する詐欺対策アプリの導入や、安易に個人情報（特に職場の機密や金融情報）を AI に入力しないことなどを強く推奨しました。金融機関や行政も、信頼できる連絡窓口として「公式アプリ」の利用を推奨している現状を説明しました。



2. アプリ開発による業務効率化（DX）

顧客との信頼関係を守り、他社との差別化を図る手段としてアプリ開発を提案。通常 300 万円以上するアプリを、同社では 75 万円から提供している実績を紹介しました。アプリは、顧客向けの会員証や電子カタログ機能だけでなく、社内の顧客管理、案件管理、スケジュール管理といったバックオフィス業務も統合・効率化できると説明。紙や Excel による属人的な業務をアプリ化することで、誰でも・どこでも・いつでも情報にアクセスできる環境を構築でき、DX 推進の鍵となると述べました。ある企業ではタイムカードの仕組み化で年間 1,440 万円のコスト削減に成功した事例も紹介されました。

3. AI の正しい活用法

AI は「物知りすぎる天然ボケ」であり、自信満々に間違った情報を答える「ハルシネーション」という特性を持つと解説。AI は万能ではなく、あくまで予測変換のようなものであり、「幸せにしてください」といった曖昧な指示は不可能だが、「幸せになるための旅行プランを提案して」といった具体的な指示には的確に応えると述べました。おすすめのツールとして、文章作成には「Claude」、画像作成には「Midjourney」、

おすすめAi



そして総合的には無料で多機能な「Google AI Studio」を挙げ、これらを組み合わせ「仕組み化」していくことが重要だと締めくくりました。

総合的なAi活用



Google AI Studio